

インタビュー

株式会社 ハイテクノ



図 1 本社社屋

Q1. 会社の概要についてお聞かせ下さい。

確かな理論と豊かな発想の下に「プロフェッショナルな技術者育成」を目指した教育を行っています。1967年に開講した「上級めっき技術講座（後に表面処理技術講座）」は半世紀を超える歴史を有し、修了生 1855 名（受講者 2150 名）が表面処理業界の中核で活躍しています。専門知識の習得だけでなく、グループ研究、修了認定研究指導・発表会を通して、コミュニケーション・プレゼン力を高め、企業の幹部に相応しい人材を育成し、産業界に貢献しています。さらに、実務を重視した「めっき技術者のための機械・装置設計技術者育成講座、電気化学および無電解めっきの実習講座」では、技術者に必用な思考力・探求心・洞察力・解析力・論理性などを養います。月刊誌「トレンドィ」には表面技術に関する外国文献の翻訳や特許を収集し、最新の情報を広く提供しています。当社の事業は表面処理業界の発展や人材教育に貢献できるものと確信しております。

Q2. 業務内容についてお聞かせ下さい。

表面処理技術・表面工学分野に関する教育および情報提供・コンサルティング事業を展開しています。

1) 人材育成事業

- ・上級表面処理技術講座の開講（第 52 回講座開中）。
- ・めっき工場のための「機械・装置設計技術者育成講座」の開講（本年 9 月に第 10 回講座開講予定）。
- ・めっき技術者のための「電気化学実習セミナー」の開講（本年 11～12 月に第 6 回講座開講予定）。

株式会社 ハイテクノ プロフィール

称 号：株式会社 ハイテクノ

所在地：東京都大田区京浜島 2 丁目 16 番地 1 号

電話（代表）：03-3790-3174

ファックス：03-3799-0928

<http://www.hightechno.co.jp>

設 立：1974 年 中村経営研究所

1985 年 株式会社ハイテクノに名称変更

代表取締役：山下 嗣人

- ・無電解めっきの基礎と応用実習講座—入門者のための「プラめっき基礎実習セミナー」の開講（本年 12 月頃に第 2 回講座開講予定）。
- 2) コンサルティング事業
 - ・表面処理技術の基礎から最先端技術に至る学問的ならびに実践的に高度な見識を有し、工学博士または技術士の称号をもつ 8 名のスタッフが、速やかに対応して諸問題を解決します。
- 3) 情報提供事業
 - ・表面処理業界の課題と将来展望に関する講演会の開催。
 - ・目的別出張教育セミナーの受託。
 - ・めっき教室シリーズ DVD の販売（22 巻 72 テーマ）。
 - ・「トレンドィ（月刊誌）」の発行：最新の外国論文翻訳、特許収集、その他。



写真 1 上級表面処理技術講座講義風景

- ・短期の電気化学実験を随時開講します。電流密度とめっき電位、分解電圧（過電圧）、電解生成物の化学分析による定量、鉄鋼材料の腐食原理と犠牲陽極・陰極防食法など。テーマにつきましては、ご希望に対応いたします。



写真2 効果テスト



写真3 修了認定研究指導



写真4 電気回路実習



写真5 電気化学実習

4) 会員の恩典と入会手続きのご案内

会員になりますと、以下の恩典があります。

- ・当社主催の講座や各種セミナーへの優先参加権と受講料の割引。
- ・企業用目的別セミナーの開催。
- ・「トレンドイ（月刊誌）」の無料配布。
- ・既刊DVD（22巻72テーマ）の会員価格での購入。
- ・メールでの各種質問と相談。
- ・入会手続き：企業所在地（TEL, FAX）、企業名、代表者名、連絡担当者名（所属・氏名）、連絡用の電子メールアドレスをご記入の上ファックスまたは郵送ください。詳細は弊社ホームページをご覧ください。

郵送先：〒143-0003 東京都大田区京浜島 2-16-1

京浜島センタービル 3F

TEL：03-3790-3174, FAX：3799-0928



図2 月刊誌トレンドイ 図3 DVD めっき教室シリーズ

Q3. 今後の展望について、お聞かせください。

第53回上級めっき技術講座は令和元年11月8日（金）に開講します。基礎から先端めっき統一コース」とし、カリキュラムを一新して「プロフェッショナルなめっき技術者」を育成します。

化学・電気化学・めっきを始めとする表面処理技術の基礎から最先端技術に至る講義の他に、「実験・演習・学外研修・工場見学」などの実践科目を受講して、理解度を深めるとともに、見聞を広めることができます。

社会人に要求される「課題の意味を正確に理解する力（読解力）、自ら考え適切に行動できる力（実践力）を養えるように指導します。近年の学校教育で懸念されている「応用力・表現力」が低く、学習意欲に欠けるという課題を実験と演習を通して改善できるように努めます。

Q4 学会に期待することについてお聞かせ下さい。

素材そのものを工業材料として使用することはできません。各種の表面処理（めっき・陽極酸化・表面改質・塗装など）が必要になります。表面処理・表面工学の分野は、「材料の科学と工学」を専門とする日本材料科学会に関係深い分野ですが、大学理工系学部のカリキュラムには皆無のようです。企業における技術開発には、専門基礎が必要ですが、自社で教育できる範囲は限られていますので、本学会への期待は大きいと思います。

研究発表会、研究論文、解説（特集号）、講習会、実習セミナーなど若手研究者・技術者を中心に展開し、産学連携を推進して会員増強を図り、日本材料科学会がますます発展されますことを期待しております。

お忙しい中インタビューに応じて頂きました。期して感謝の意を表します。

（日本材料科学会 編集委員長 渡邊充広）